



中谷会長は、3月策定の新たな運動の推進への協力を呼び掛けた。

中谷会長は冒頭のあいさつで、政府では、米に関する関係閣僚会議において、食料安全保障の観点から、今後の農業政策の在り方について検討・議論が進められていることに触れ、米の安定供給を図るには、「米の生産拡大による生産基盤の強化と農業者が安心して再生産でき、かつ消費者の理解が得られる適正な価格形成を図っていくことが重要」と強調。また、「農業者が将来に希望をもって農業を続けることのできる施

地域計画の実現目指して

第161回通常総会

農業会議は6月17日、大阪市内・KKRホテル大阪で第161回通常総会を開催。令和6年度事業報告及び収支決算、市長会の役員改選に伴う理事の補充選任などについて承認した。総会には来賓として大阪府環境農林水産部原田部長らが臨席。会員99人の全員（書面表決者及び表決委任者含む）が出席した。

策の実現が強く求められる」として、特に小規模な家族経営の農業者が多い大阪農業の実態に即した政策が実現されるよう、JAグループと連携を図りながら引き続き提案活動に取り組んでいくとした。

市町村の地域計画については、今後はその実現に向けて、地域計画のブラッシュアップを図っていくことが重要とし、「各農業委員会では、推進役となり地域課題を農業者と一緒に解決していくにあたり、体制整備・強化が課題。市町村長に対する農

新理事に

銭谷四條畷市長

議事では、令和6年度事業報告及び収支決算、市長会の役員改選に伴う理事の補充選任について審議し、議案はいずれも原案どおり承認された。

新しい理事には、銭谷翔氏（四條畷市長、大阪府市長会生活環境部会長）が選任された。

業施策の意見提出など尽力いただきたい」と呼びかけた。

来賓として出席した原田環境農林水産部長があいさつで農地10万当たりの農業産出額について、大阪府が全国第3位であることを紹介。これをより高めていくためにも「今後は市町村の地域計画の実現が重要。担い手への農地の集積・集約化や新規就農者への農地のマッチングなど引き続き地域一体での取り組みが必要。農業委員会は地域の中心的な役割を担って尽力いただきたい」と呼びかけた。

総会終了後には、令和6年度農業委員会だよりコンクール及び全国農業新聞表彰授与を実施。農業委員会だよりコンクールは河内長野市農委が受賞、全国農業新聞の普及においては、優秀農委・団体等表彰において、高槻市農委、富田田市農委、堺市農委が昨年に引き続き受賞し、それぞれ中谷会長より表彰状が手渡された。（中島）



発行所
大阪府農業会議

大阪府中央区農人橋2-1-33
JAバンク大阪信連事務センター3階
電話 直通 06(6941)2701~2
http://www.agri-osaka.or.jp
発行人 中谷 清

年金の
お受け取りは
JAで

JAバンク大阪(JA/信連)

JAバンク大阪へ 検索

主な記事

- ◎4市町で候補地区選定
地域計画実現事業...2面
- ◎改正基本法、基本計画
における政策の実現に
向けて...3面

風速計

5月に発表された3カ月予報では、近畿の気温は高いとされ今年も暑い夏になりそうだ。変温動物の昆虫は一般的に積算温度で発育が決定するため、夏の高温は人がバテても、多くの農作物の害虫にとっては発育が進む好条件となる。さらに、高温により米の品質も下がる。◆昨年来の米価格の高騰で水田政策が見直される。政策的な議論も勿論重要であるが、これからの続く高温下での水稻栽培では、技術的課題の省力的で効果的な害虫防除と耐暑性品種の開発が必要である。◆これまでも、国と府県の研究機関が連携し害虫防除技術や耐暑性品種を開発してきたが、今後は常態化し、年々厳しくなるであろう高温化への対応が重要だ。これらに対応する技術があつてこそ水田政策が実現できる。国は政策議論と併せ、研究予算を確保し迅速な技術・品種開発に取り組んでもらいたい。（藤岡）